

慰霊の千羽鶴 海を越えドイツへ 肥沼信次博士の命日にあわせヴリーツェン市に送付

第二次世界大戦終戦直後のドイツで伝染病患者の治療に尽力し、八王子市とドイツ・ヴリーツェン市との友好交流協定締結のきっかけとなった、本市出身の医師・故こえぬまのぶつぐ肥沼信次博士。肥沼博士の命日（3月8日）にあわせ、市民の皆さんが折った千羽鶴2,500羽を、下記のとおり送付します。

千羽鶴は、「Dr.肥沼の偉業を後世に伝える会」の会員や、博士の母校である市立第三小学校、ヴリーツェン市の聖ヨハニッター校と姉妹校提携を結んでいる八王子学園八王子中学校・高等学校の児童・生徒たちが、心を込めて折ったものです。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年執り行っている受領式は中止としましたが、千羽鶴は、市長親書と子どもたちのメッセージを添えてヴリーツェン市のイルム市長宛てに送られ、肥沼博士の墓前に供えられます。

記

1 送付日 2月5日（金）

2 送付先 ドイツ・ヴリーツェン市

3 千羽鶴等制作協力

Dr.肥沼の偉業を後世に伝える会 会員
八王子学園八王子中学校・高等学校 生徒
八王子市立第三小学校 児童



◆2,500羽の千羽鶴

<問い合わせ> 市民活動推進部 多文化共生推進課長 中野目泰明
電話 042-620-7437